



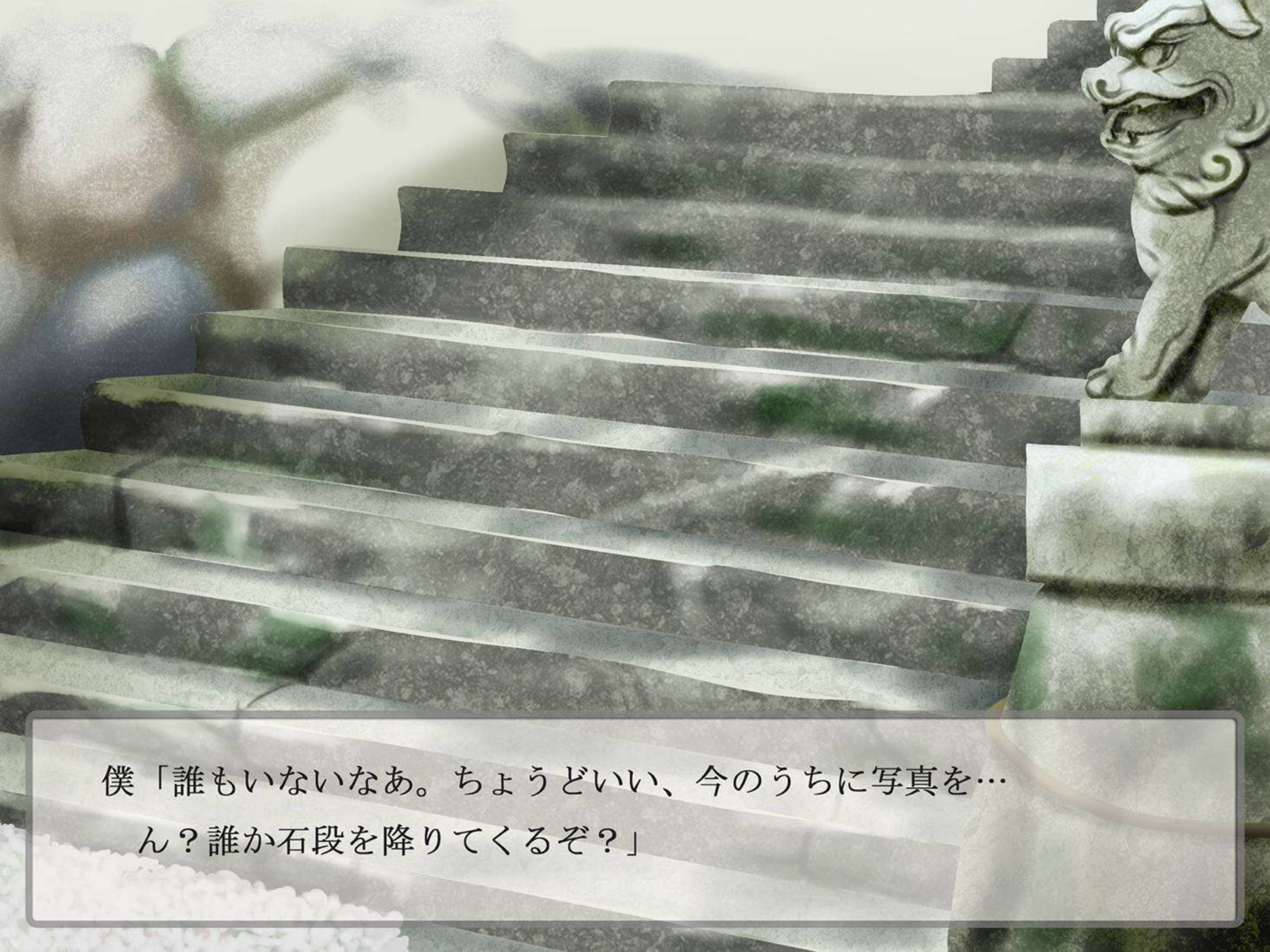
続・ひぐらし
神社にようこそ
ですわ!



僕「はあはあ、やっとついた。ここがあのアニメの舞台になった神社か…。思ったよりずっと立派じゃないか。」



僕「この暑さの中、スマホが使えないような山奥の村まで来た
甲斐があった。良い処だ。セミの声が降り注ぐようだ。」



僕「誰もいないなあ。ちょうどいい、今のうちに写真を…
ん？誰か石段を降りてくるぞ？」



...アッ...

ザッ

僕「うわっ!？」

こんにちほっ！

ちんぽ
いらっしやいませー！


僕「こ、こんにちは」

(パパパンツ見えた、パンツ見えた、パンツ見えたっ)

今日も
暑いですわね〜。
ここまで来られるの
大変でしたでしょ。

ご旅行ですか？
あ一人？

僕「うん…はい…。
え〜っと、あ、あの〜、君は？」



あら、いけない、
これは申し遅れました。

私、沙都子と
申します。
この神社の者ですわ。

僕「あ、あ～、ここの人なんだ。」

(歳の割りにおっぱい大きいなあ…すごく大きい…)

参拝の前に

屋内で休まれてはいいかが？

差し出がましいようですが
この暑さですもの。
体調に気を付けなにと。

僕「あ～、は、はい…」（山奥の神社でこんな可愛い巨乳の娘に話し掛けられるなんて…まぼろしか何かか…？）

ふふふ、やうさねましたの、
ほーっやっわ。

では早速
ご案内しますわ。
さあ、こちらですわよ。

僕「え？な、何？」

では、こちらに
お座りくださいな。

遠い所、お疲れでしょう
マッサージしますわ。
力を抜いて下さいませ。

僕「あ、そんな、そこまでしてもらったら悪いというか
申し訳ないから…」

こうやって
観光客をもてなすのが
この村の方針ですの。

私を助けると思って

じっとしててくださいな。

うふふ。

僕「そ、そうなの？そういうことなら喜んで。お願いします。」

(気持ちいい…しかも腕におっぱいが当たってるう…)

はい、汗をお拭き
いたしますわ。

上着を脱がせますわよ。

はい、拭き拭き。

拭き拭き。

僕「はああ、こんなことまで…」

ベルトも
緩めますわね。

そう、リラククスしたまま
寝転がって下さいな。
はい、やっや。

僕「えっ、あっ、ズボンはちょっと、待って」

お顔の上、
矢礼しますわよ。
下半身もマッサージ
いかがかしら。

もうこんなに
硬くなって
しまってますわ。

僕「ぐっ！」



このまま手コキで
射精一回三千円で
承りますわよ。

お嫌でしたら
抵抗して
下さいな。



特に嫌な素振りも
ございませぬので
始めさせて
いただきますわ。

はい
しゅわんしゅわん
しゅわんしゅわん

しゅわんしゅわん



私の匂いも
堪能して
下さいますか。

遠慮する必要
ないですわよ。

シコシコシコ



あら、もう
いきそう
ですわね。

私の匂いに
興奮しましたか？

シコシコ
シコシコ
シコシコ



むいむい

いって下さいな。

私のお尻の

下で。

むいむいむい

いって、いって。

ムシゴシコ
ムシゴシコ
ムシゴシコ





あは、
出た出た
出ましたわ。

気持ちよかったの
ですわね。

ドピュドピュ

上からさいで、
精液を拭き取り
ますわね。
そのあと

三千万納めて
くださいまし。



結構沢山

お金持ってきいて

いらっしやうまあ

のね。



もう何回か

射精して行って

下さいませね♪

あら、

何だかほーっせ

っこまいど

ですわね？



いきなり

顔面騎乗は刺激が

強すぎたかしら♡

今のうちで、
もう一回手ロキで
イっていただけま
ますわ。

また三千元ね♡
はーいペロキュー
しますわよ〜

僕「ああっ、うっ」



わろわろわろ
さす。さす。
さすへさへさへ
うすうすうす

シヨシヨシヨ

僕「うぷっ、ふぐっ」
(舌で舌を舐められてる…！)



ふっうん
はっはっはっはっ
にゅうんふっふっ
れるれるれるれる

シヨシヨシヨ

僕（この娘、舌で僕の口を…
ピストン運動で犯してるっ…）

ふふ、いやらしい
キスでおチンポ
びんびんですわよ。
いきそうですわね。

シヨシヨシヨ

僕「ちょっと待って、もう少し
優しく…おわっ」

それではお口の中
かき回されながら
射精なさいませ♥

ひょろひょろ、
ひゃたくちのひた
しんぽれ、はなたの
おひゅちなんこ
レイフされて
まひゅわよ。

れろれろれろ

シコシコシコシコ

僕「あ～ひゅごいキス、
もうらめ、らめら～、ひい～」

いきなたい。
キスらけれ
イってひまいなたいな。



んんん

僕「いく、いくうううう」

あは、2発目
出ましたわ。
思ったとおり
攻められると
感じるのですわね。

あ、もしかしてこれが
ファーストキス
かしら？

僕「はあ、はあ、うん…
そうです…」



それはそれは。

随分濃い

ファーストキス

になってしまい

ましたわね。

うふふ♡

やっぴや回ご

射精一回三千円ね。

さ、次

いきますわぁっ♪

僕「はあ、はあ、ちょっと…
休ませて…」

はい次は
お待ちかね
おっばいですわよ。
ほうほう。

おちんちん、
谷間に挿んじやい
ましたわよ。
感想は？



僕「うわあ、柔らかい…
暖かい…ああ…」

まはははは

締めこいきまははは。

れろれろれろ

れろれろれろれろ

僕「ひやあ、そんないきなり…
…はああ…ああ」

うふふそれじゃあ

おちんちん舐めながら

パイズリしますわよ。

やせへらこの間

耐えられますか？。

僕「え、舌とパイズリ両方？…
…」

まずはおっぱいで

おちんちんを両側から

圧迫して、

亀頭を舐め舐め

ですわ。

むにゅっ

僕「ふっ、う……」

そしてこれが

パイヌリですわっ。

それっ、それっ、

それっ、それっ。

おチンポ、

おっぱいで、

濡れそうですわよ。

ゆっさ

ゆっさ

僕「ふえっ、チンポ、
引っこ抜かれそうっっ」

ほうほうお千んポ

もっと舐めて

あげますから

いってくださいます。

おっばいご、

敗北して、白旗、

掲げて、頂戴♪

ぱちぱちぱちぱち

ゆっさゆっさ
ゆっさゆっさ

僕「こ、こんなの無理、我慢できない、
はああ搾り出される、いきそうイクっ」



ドピュッ

僕「うううううう～」

やっぱりおチンポは
大きいおっぱいには
勝てませんでしたわね。

三千万になりますわ、
なかなか良いペース
ですわね♪

僕「うう、はあ、はあ、はあ……」

布団を畳んでその上に
腰を乗せますわよ。
おいしょっぴゃ。

このほうが攻めやすい
ですわね。

僕「うわっ……」

大きいおっぱいに
弱いことが
分かりましたので
またおっぱいで
苛めてあげますわ。

ほら、おチンポも
苛めて欲しいですよ。

僕「またおっぱいで……
はあ、はあ、はあ…」

それでは優こへ

奇めて

差し上げますわ。

こんなのはいかが？

乳首だけで

刺激しますわよ♪

僕「うっ、……

そんなことをっ…」

更に乳首で

こすりあげて

あげますわよ。

ほろほろあゝ

とっても扇情的な
眺めでしょ♡

僕「はああ、いやらしい……
いやらしすぎる光景だ…」

大きいおっぱいじゃ
ないと出来ない
しつな技ですよ。

めく味わって
♡たごいな♡

僕「あっ、あっ、カリの下ばかり
攻めないでっ…」

ふふふっ

お馬鹿さんですわね。

自分の弱点を白状する

なんて。

くっくっくっくが

気持ちいいのっ？

僕「はっ、ああっ、駄目っ、
そんなっ…」

あらあら、私
おっぱいの先っちょを
少し動かしてるだけ
ですわよ。
こんなのでイくの？

こんなので生命の
元を出してしまふのっ？

僕「ふえっ、ごめんなさい、いきそう
いきまふ、いく、いくうっ」

ぴゅぴゅっ

僕「うっ、うっ、うう〜」

またまた沢山

出しましたわね〜

面白いぐらい出ますのね。

また三千万頂きますわ。

貴方のような方に来て

頂けるなんて、今日は

ツイてますわ♥

僕「…ふうっ、ふうっ、はあ、
はあっ、はあ、」

そんな貴方には
特別に一円で
本番をご提供♡
童貞を奪って
差し上げますわ♪

もちろん
やりますわよね。

僕「はあ、はあ、はあ…
ちよ、ちよっと考えさせて…」

残念ながら
貴方に拒否権は
ございませんのよ？

ほら、あなたの
童貞
おこしなさい。

ぬいっ…

僕「ふえ？…ああ、あ、あ…
あああああ…」

ほおろ、
入っちゃった。
はーい、貴方の
童貞、もらい受け
ましたわ♡

僕「くっ、ああ、待って…、
し、しばらくこのまま…」

脱童貞

おめでとーいっすわね。

では

動きまますわよ。



ん？
何か
あっしゅいまっつて？

ズンツ

僕「うっ！」

早漏さんは
そうやっておしゃべり
時間稼ぎしちゃう
しますわね。

あなた方は
チンポ気持ち良く
されて、喘いで、

ヌラッ

僕「ふ、ひ、ひい…」

さっさとイけほ
いのですわよ。

ズンッ

僕「へうっ！」

ほらほら、早く
行ってくださいまし。
童貞喪失の感慨に
浸るのは、

お家に帰った後に
してくださいな。

ぬっぴぬっぴ

僕「はっ、あっ、ひっ、くっ」

ほうら、

繋がってるぞい

ご覧なさい。

チンポが挿入

されてるぞい、

出たり入ったりするの

見ながらイきなさいな。

ヌプツヌプツヌプツ

僕「あ～、ああ～っ、
もう駄目、ダメっ、出るうう」



あはっ♪

ぷしゅっ

僕「イぎますっ、うっ、ううっ〜」

まだこんなに
出ますのね。
素敵ですわよ、**貴方**♡
では一万円
頂きますわ。

もう流石に
虫の息ですわね〜。

でも…

僕「…ひ、ひふっ、ほお、ほああ」

まだ充分

お金、

お持ちですわね。

ならもう一回、

いっていただき
ますわ♪

ずぶずぶ

僕「ひぎいっ！」

ふふ、こうやって
受身な男の方を
捕まえては
イかせて
お金を稼いで
ますのよ。

そう、貴方の
ような方を、ね♡

僕「うう…」

ヌプツ...

私の身体が
忘れられなく
なるまで
犯してあげますの。
そうすると皆さん
また来て下さい
ますのよ♡

貴方もそうなって
頂きますわ。

ぶるんっ

ズンツ

僕「ひいいっ！」

今日はこれで
最後でしょうから
最後の一滴まで
精液お出しなさい。

情けないイキ声
聞かせて下さいなっ

ぬるっ...

僕「ああ、堪忍して...
もう、もう出ません...」

何が
「もう出ません」
ですの？
こんなにチンポ
おっ立てといて！
あなたみたいな
犯され好きは、

黙って攻められて
射精してれば
いいのですわ！

ゆっさ
ゆっさ

ゆっさ
ゆっさ

パンツ
パンツ

僕「はあああっ、ごめんなさい、
ごめんなさいっ、ひいっ、ひっ」

私に犯され
たかったのでしょ、
私をひと目
見たときから。
この変態、イけっ、
イけ変態っ！

そろ、イけっ
イっちまえー！

僕「ひええええ～、いくううう
イきますううっ」

ぬっぴ
ぬっぴ

ふ、ふふふ

あはははははは


こんなに出ましたわ。

これで調教

完了かしらね。

では、また一万円
頂きですわよ〜♥

僕「かはあ…ひ…う…」



あらあら、流石に
もう疲れ果てて
言葉も無いですわね。
目も虚ろですわよ。

帰りに神社の階段で
転ばないように
なさいな。

僕「はあ、はあ、はあ…」

またここに
おいでなさい。
お金と精液をたっぷり
貯めてからね。

今日のあなたは
いっぱい可愛がって
差し上げますわよ♡



ん？

どうかしましよっ？

私の身体をじっくり見て。

解る前に

目に焼き付けて

ますのかっ？♡



スツ

私の下着姿に
欲情したとか？
まさかそんなことは
ございませんよね？

あれだけ陵辱されて
あれほどザーメン
ひり出されたのですから。

僕「あ、あ、あ…」

あやあや〜
股間が膨らんで
ますわよ？
まさか勃起して
ますの〜？

まさか私を見ながら
チンポ自分でしごいたり
しませんわよね？



あゝあ。

本当にお千ンポ

出して扱き始めて

しまいますのね。

シコシコ

なんて惨めな。
何て浅ましい。

僕「ひ、ひい、ふ……」

イカされ過ぎて
脳とチンポが
直結してしまっただの
ですわね。
ふふふふ♡

ペロペロ気持ちいらいっ？
おれもどろろおれもどろろ。
おれもどろろおれもどろろ。

シコシコシコ



ん？誰かまた
参拝客が来たよう
ですわね。
捕まえなにと。

そつという訳なんで
今すぐイキなさい。

ほら早く
汁出っで。
ぴゅっぴゅっ
ぴゅっ

シコシコシコ
シコシコシコ

僕「へ、ひ、ひいい」

あはは、

ほんとにきつ

イっちゃった。

何ですのその

情けない

いき声は。



言ってますせん

でしたけど

見抜きでも三千万

頂きますわよ♥

ぴゅっ

僕「ひい…」

ふふふ、もう
半分失神状態
ですわね。
無理も無いですわ。

奥の部屋で休んでから
お帰りなさいな。

さ、私は新たな獲物を
仕留めないさ♪



こんにちは！

ひらひらし神社に

ようこそですわ。

お兄さんは

お一人でご旅行？

いい天気ですけど

ちょっと暑すぎ

ですわね、ふふ。



…はい？

スカートが

どうかしまして？

だって

暑いんですもの。

私のような

年下の娘のパンツが

見えても何となく

思わないでしょ？

うふふ、ふふ♪



あら、

随分熱心に

私の下半身を見て。

私、そんなに

魅力的かしら？

嬉しいですよ。
どうぞいらんども
見て行って
くたせいな♡



うふふ、

もうおちんちん

硬くなって

しまいましたの？

いけませんわね、

こんな日なかに。

私が責任を取って

手コキして差し上げ

ましよう。

ふふ、三千円だ

いかが？



嘘では

ありませんわよ。

さあ、早くしなさい

誰か来るかも

しれませんわ。



こちらに来て

おちんちん出して

下さいな。

はい、おチンポ
捕まえた♪

こんな明るい所で
こんなに硬いのを
むき出しにして。



全く困ったおチンポ
ですわねー。
私が躰けて差し上げ
ますわ♥

それでは

シロシロっ

あげますわね。

はっい、シロシロっ

シロシロっ

シヨシヨ

ほらパンツだけ
じゃなくて

おっぱいも見なさいな。

こんなに乳首が

立ってますわよ♡



ほろほろ

さっさささって

下さいまし。

人が来たら

さうしますの。



あら、キムポ

ピクピクしてる。

誰かに見られるかも、と

興奮したのですわね。

いきそう？

シヨシヨ
シヨシヨ

じゃあ

いきなさい。

見知らぬ女の子に

チンポしごかれて

いきなさいな。



パンチラで誘惑されて

理性無くして

チンポ出して

右手でペロペロ舐めて

いきなさいな。

ツコツコツコ
ツコツコツコ
ツコツコツコ

あはあ♡

ドピュッ



うふふふ、

随分いっぱい

出しましたわねー！

はい、三千万

頂きますわよ。



とりあえず部屋に

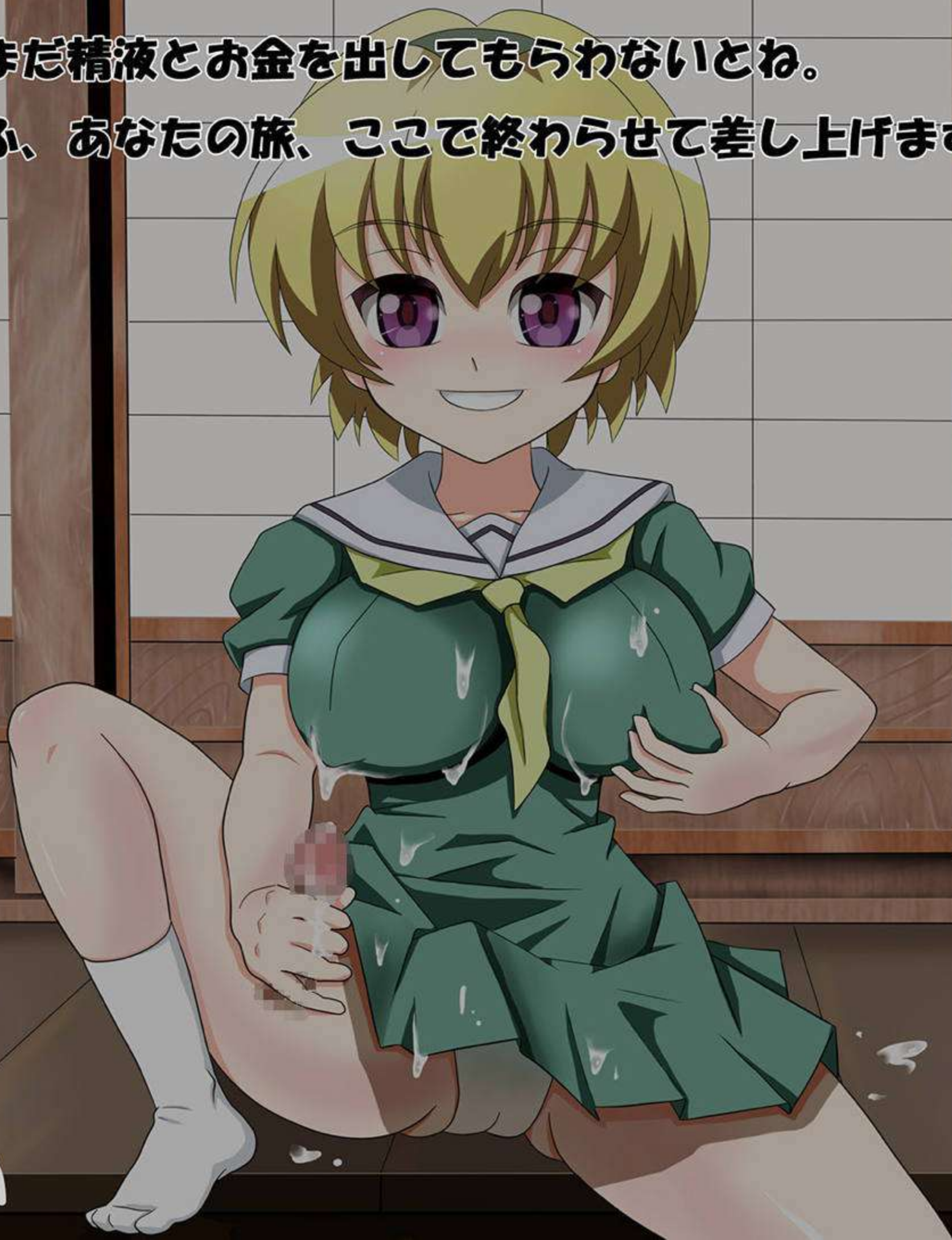
入って下さいな。

精液を拭かないと。

それに…

沙都子（まだまだ精液とお金を出してもらわないとね。

ふふふふ、あなたの旅、ここで終わらせて差し上げますわ♡）



おしまい



